



HSホールディングス

2025年3月期

決算説明資料

本資料は、当社の2025年3月期における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	HSホールディングス株式会社 (HS Holdings Co., Ltd.)		
代表者	代表取締役社長 原田 泰成		
所在地	東京都港区虎ノ門五丁目11番1号 オランダヒルズ森タワーRoP1307号		
設立	1958年(昭和33年)1月21日		
資本金	12,223百万円		
グループ会社数	〔連結子会社〕4社 〔持分法適用関連会社〕2社		
従業員数 (臨時従業員含む)	〔グループ全体〕 5,741名	(当社単体)	5名
		(連結子会社)	664名
		(持分法適用関連会社)	5,072名

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 STANDARD市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	35,465百万円

2025年3月末時点

1958年 1月	当社(協立証券(株))設立
1999年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任 (2016年11月より代表取締役会長に就任)
1999年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
2001年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
2004年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所STANDARD市場に株式上場(証券コード:8699)
2006年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
2007年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継
2021年12月	澤田秀雄が当社代表取締役会長を退任し、新経営体制へ移行 HSホールディングス(株)に商号変更(2022年1月1日より)
2022年 3月	エイチ・エス証券(株)を売却

〔連結子会社〕4社 〔持分法適用関連会社〕2社

《関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

2025年3月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	▲ ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	49.77%
	● キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)	52.90%
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	46.80%
リユース	● 株式会社STAYGOLD	100.00%
その他	● H.S. International (Asia) Limited	100.00%
	● HS Financial Pte. Ltd.	100.00%

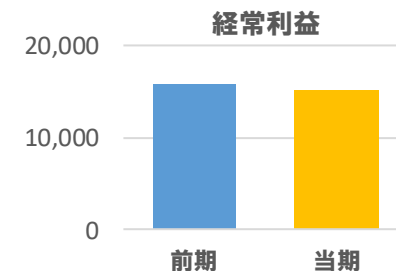
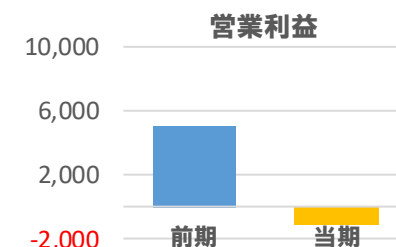
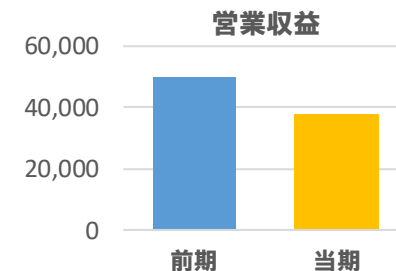
《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
▲ ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	2003年 国際競争入札により株式を取得
● キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)	2017年 株式を取得
▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	2012年 第三者割当増資により株式を取得
● 株式会社STAYGOLD	2022年 株式を取得
● H.S. International (Asia) Limited	2008年 設立
● HS Financial	2024年 設立

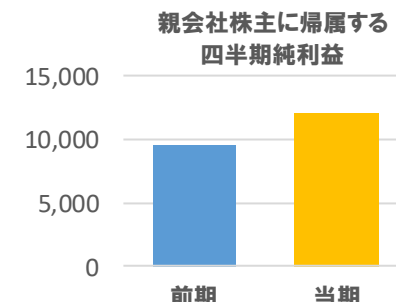
(単位:百万円)

科目 \ 期間	2024年3月期 (2023年4月～2024年3月)	2025年3月期 (2024年4月～2025年3月)	前期比
営業収益	49,597	37,766	76.1%
純営業収益	18,252	9,009	49.4%
営業利益	5,008	▲1,106	- %
経常利益	15,775	15,122	95.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	9,463	12,100	127.9%



(単位:百万円)

科目 \ 期間	2024年3月期 (2024年3月末時点)	2025年3月期 (2025年3月末時点)	前期末比
総資産	98,774	115,334	116.8%
純資産	72,416	87,701	119.7%
現預金	18,403	17,792	96.7%



連結業績変動の主な要因

■ 営業収益 49,597百万円 ⇒ 37,766百万円 ▲11,831百万円

■ 純営業収益 18,252百万円 ⇒ 9,009百万円 ▲9,242百万円

- ・前第1四半期末に、主要な連結子会社であったハーン銀行が持分法適用関連会社へ異動となったため、大きく減少している

■ 営業利益 5,008百万円 ⇒ ▲1,106百万円 ▲6,115百万円

- ・前第1四半期末に、主要な連結子会社であったハーン銀行が持分法適用関連会社へ異動となったため、大きく減少している
- ・キルギスコメルツ銀行において、2025年3月に多額の引当金を計上しており、それを連結上取り込んだ
- ・STAYGOLDにおいて事業拡大に伴う販管費が増加、連結上で、のれんや無形固定資産の償却費が発生した

■ 経常利益 15,775百万円 ⇒ 15,122百万円 ▲652百万円

- ・ハーン銀行の業績が営業外収益に持分法投資利益として計上されているが、前第1四半期はハーン銀行の業績が全部連結されていたため減少している
- ・ただし、ハーン銀行の業績自体は好調であるため、持分法利益が大きく増加し、経常利益の減益幅は小幅

■ 当期純利益 9,463百万円 ⇒ 12,100百万円 +2,637百万円

- ・モンゴル銀行法の改正によりハーン銀行の留保利益に関する税効果会計に変動が生じ、法人税等調整額がプラス方向に大きく動いたため増加している
- ・ハーン銀行およびソリッド銀行の業績好調のため持分法利益が大きく増加し、経常利益以降の利益が底上げされた

2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）

（単位：百万円）

セグメント 科目	銀行 関連事業	リユース事業	その他事業	連結
営業収益	2,908	34,845	6,183	37,766
営業収益の内訳 （外部／内部）	外 2,908 内 -	外 34,845 内 -	外 11 内 6,172	-
営業利益	▲652	40	5,571	▲1,106
経常利益	14,795	▲46	6,544	15,122

2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）

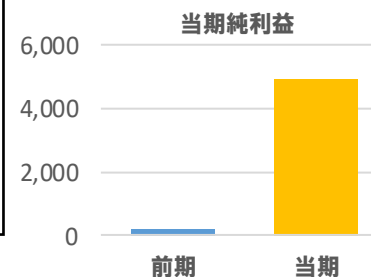
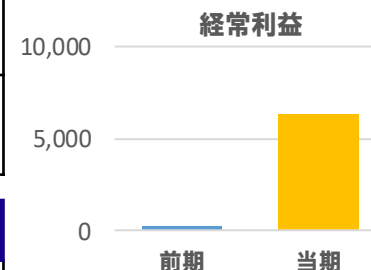
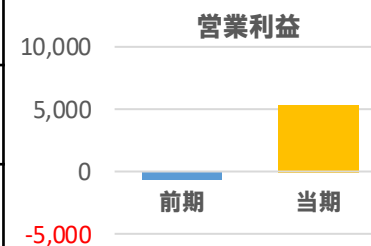
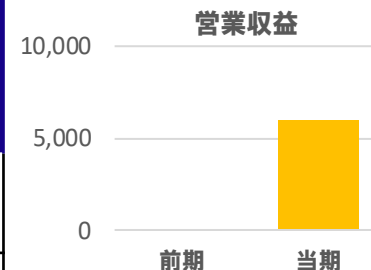
（単位：百万円）

セグメント 科目	銀行 関連事業	リユース事業	その他事業	連結
営業収益	20,455	29,133	13	49,597
営業収益の内訳 （外部／内部）	外 20,455 内 -	外 29,133 内 -	外 9 内 4	-
営業利益	5,883	▲261	▲736	5,008
経常利益	15,802	▲317	290	15,775

※ 営業収益の内訳（外：外部顧客に対する営業収益／内：セグメント間の内部収益又は振替高）
 ※ 連結は、セグメント間の内部収益を控除後の数値を表示。

(単位:百万円)

科目 \ 期間	2024年3月期	2025年3月期	前期比
営業収益	13	5,965	- %
営業利益	▲733	5,359	- %
経常利益	292	6,332	- %
当期純利益	182	4,905	- %
総資産 【前期末 / 当期末】	44,505	47,856	107.5%
純資産 【前期末 / 当期末】	43,600	46,956	107.7%



主な増減要因

- 当期は、関係会社からの配当金が増加したことにより、前期比で大幅な増収増益となった。
(関係会社からの配当金は内部取引のため、連結業績には影響しない)

(単位:百万MNT)

商号	ハーン銀行(Khan Bank LLC)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2023年12月期</th> <th>2024年12月期</th> <th>前期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Interest income (資金運用収益)</td> <td>2,052,185</td> <td>2,553,681</td> <td>124.4%</td> </tr> <tr> <td>Net interest income (純資金運用収益)</td> <td>1,053,700</td> <td>1,226,505</td> <td>116.4%</td> </tr> <tr> <td>Profit for the period (当期純利益)</td> <td>558,783</td> <td>638,514</td> <td>114.3%</td> </tr> <tr> <td>Total assets (総資産) 【前期末/当期末】</td> <td>17,350,642</td> <td>20,302,725</td> <td>117.0%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2023年12月期	2024年12月期	前期比	Interest income (資金運用収益)	2,052,185	2,553,681	124.4%	Net interest income (純資金運用収益)	1,053,700	1,226,505	116.4%	Profit for the period (当期純利益)	558,783	638,514	114.3%	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	17,350,642	20,302,725	117.0%
科目	2023年12月期		2024年12月期	前期比																		
Interest income (資金運用収益)	2,052,185		2,553,681	124.4%																		
Net interest income (純資金運用収益)	1,053,700		1,226,505	116.4%																		
Profit for the period (当期純利益)	558,783		638,514	114.3%																		
Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	17,350,642	20,302,725	117.0%																			
所在地	モンゴル国 ウランバートル																					
資本金	191,219百万MNT (MNT:トゥグルグ)																					
議決権の所有割合	49.77%																					
主要事業	銀行業																					

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大の商業銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のデジタルバンキングサービスを推進

概況

- モンゴル経済は、消費や輸出が好調のため実質GDPは引き続き大幅なプラス成長。ハーン銀行の業績は、融資残高の増加により資金運用収益が増加しているが、預金残高の増加や預金金利の上昇により資金調達費用も大きく増加しているため、純資金運用収益の増加率は資金運用収益の増加率より低くなっている。全体としては、ハーン銀行の業績(現地通貨基準)は依然として増収増益が続いている。
- 個人向けにはデジタルバンキングサービスの推進、デビットカード・クレジットカードの新規発行・更新手続きの見直しによる利便性の向上、口座情報や証明書の発行等の銀行サービスを24時間365日受けることができるKIOSK端末の設置拡大など、顧客サービスの更なる向上に引き続き注力。また、法人・個人向けのグリーンローン、ハーン銀行財団を通して社会的投資なども積極的に行っております。
- ハーン銀行は、前第1四半期末より持分法適用関連会社となり、連結PL上は、前第2四半期より持分法による投資損益に反映されている。

	2023年9月末	2024年9月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	12,573,580	14,918,826	118.7%
Loans and advances to customers (net) (融資残高) (百万MNT)	9,016,975	11,195,930	124.2%

【為替レート】
2024年12月末
1円 = 21.89MNT
2024年1月~12月平均
1円 = 22.49MNT

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2023年12月期</th> <th>2024年12月期</th> <th>前期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Net interest income (純資金運用収益)</td> <td>670</td> <td>1,246</td> <td>185.9%</td> </tr> <tr> <td>Net operating income (純業務収益)</td> <td>1,522</td> <td>3,581</td> <td>235.3%</td> </tr> <tr> <td>Profit for the period (当期純利益)</td> <td>357</td> <td>1,509</td> <td>422.1%</td> </tr> <tr> <td>Total assets (総資産) 【前期末/当期末】</td> <td>15,058</td> <td>36,199</td> <td>240.4%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2023年12月期	2024年12月期	前期比	Net interest income (純資金運用収益)	670	1,246	185.9%	Net operating income (純業務収益)	1,522	3,581	235.3%	Profit for the period (当期純利益)	357	1,509	422.1%	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	15,058	36,199	240.4%
科目	2023年12月期		2024年12月期	前期比																		
Net interest income (純資金運用収益)	670		1,246	185.9%																		
Net operating income (純業務収益)	1,522		3,581	235.3%																		
Profit for the period (当期純利益)	357		1,509	422.1%																		
Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	15,058	36,199	240.4%																			
所在地	ロシア連邦 ウラジオストク																					
資本金	1,877百万RUB (RUB:ルーブル)																					
議決権の所有割合	46.80%																					
主要事業	銀行業																					

会社プロフィール

- ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概況

※ ソリッド銀行は、2024年6月にカムチャツカプロフィット銀行の株式の50%を取得し連結子会社としたため、ソリッド銀行の業績等は連結ベースとなります。

- 融資残高・預金残高ともに大きく増加しており、また、金利も上昇しているため、純資金運用収益は185%と大きく増加した。また、ロシア大手銀行が規制を受けている影響から外貨取引収支が大幅に増加(613→1,854百万RUB)しており、純業務収益や当期純利益の大幅な増加につながっている。
- ロシア経済は、主にロシア国内消費の増加により実質GDP(1-12月)は前期比で4.1%の成長となったが、ロシア・ウクライナ問題を起因とする幅広い経済制裁を受けており依然としてロシア経済の先行きは不透明であり、今後、ソリッド銀行の業績に影響を与える可能性がある。
- 優良企業への貸出や外貨取引等の非金利収入の増加に引き続き注力。また、不良債権の徹底管理・回収、担保物権の売却、預金コストの削減等を行うとともに、新たなビジネス環境への対応やリスク管理の強化等の取り組みを継続する。

	2023年12月末	2024年12月末	前期末比	【為替レート】 2024年12月末 1RUB = 1.51円 2024年1月~12月平均 1RUB = 1.64円
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	10,004	19,861	198.5%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	6,807	11,356	166.8%	

(単位:百万KGS)

商号	キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)	科目	期間	2023年12月期	2024年12月期	前期比
所在地	キルギス共和国 ビシュケク	Net interest income (純資金運用収益)		197	221	112.2%
資本金	1,000百万KGS (KGS:キルギスソム)	Operating income (純業務収益)		572	559	97.7%
議決権の 所有割合	52.90%	Profit for the period (当期純利益)		71	23	32.8%
主要事業	銀行業	Profit for the period (IFRS適用後当期純利益)		100	▲17	- %
		Total assets (総資産) 【前期末/当期末】		8,798	8,460	95.4%

会社プロフィール

- ① 中央アジアの新興国、キルギス共和国に本店を置く銀行
- ② 2017年6月、当社はキルギスコメルツ銀行の株式を取得し、当社グループの一員となる

概況

- 12月末時点では融資残高・預金残高はともに減少しているが、上半期での金利収益の増加が寄与し、現地通貨基準では当期累計でもわずかに黒字を維持している。ただし、IFRS基準では引当金の積み増し等の影響で最終赤字となった。
融資残高の減少により、今後の業績は厳しい見通し。キルギス国の規模が比較的小さいこともあり、金融業は競争が激しく、依然として業績は伸び悩んでいる。
- キルギス経済は、引き続きサービス業や製造業を中心に景気は回復傾向にあり、実質GDP(1-12月)は前年同期比で9.0%の高成長となった。ただし、ロシア・ウクライナ問題等により今後のキルギス経済の先行きは不透明。
- 今後も引き続き、中小企業融資や個人向け融資の増加、カード事業やモバイルバンキングなどのリテール事業の強化による非金利収入の増加を図る。

	2023年12月末	2024年12月末	前期末比	【為替レート】 2024年12月末 1KGS = 1.81円 2024年1月~12月平均 1KGS = 1.74円
Customer accounts (預金残高) (百万KGS)	6,377	6,209	97.4%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万KGS)	4,302	3,598	83.6%	

(単位:百万円)

商号	株式会社STAYGOLD	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期間 科目</th> <th>2024年2月期</th> <th>2025年2月期</th> <th>前期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>29,133</td> <td>34,845</td> <td>119.6%</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>551</td> <td>853</td> <td>154.7%</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>495</td> <td>766</td> <td>154.7%</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>313</td> <td>319</td> <td>101.8%</td> </tr> <tr> <td>総資産 【前期末/当期末】</td> <td>5,859</td> <td>6,321</td> <td>107.9%</td> </tr> </tbody> </table>	期間 科目	2024年2月期	2025年2月期	前期比	売上高	29,133	34,845	119.6%	営業利益	551	853	154.7%	経常利益	495	766	154.7%	当期純利益	313	319	101.8%	総資産 【前期末/当期末】	5,859	6,321	107.9%
期間 科目	2024年2月期		2025年2月期	前期比																						
売上高	29,133		34,845	119.6%																						
営業利益	551		853	154.7%																						
経常利益	495		766	154.7%																						
当期純利益	313		319	101.8%																						
総資産 【前期末/当期末】	5,859	6,321	107.9%																							
所在地	東京都渋谷区																									
資本金	90百万円																									
議決権の 所有割合	100.00%																									
主要事業	リユース買取卸売・小売事業																									

会社プロフィール

- 2014年4月設立の社歴の浅い会社ながら、洗練されたWEBマーケティング手法が奏功し、若年層からの支持が大きく、買取・販売が急速に拡大。
- ブランド物のアパレル、アクセサリ、時計、宝飾品、貴金属などのリユース品の買取卸売や小売事業を展開。
- 関東、中部、近畿を中心に店舗運営。店舗買取だけでなく、宅配買取・出張買取も実施。自社オークションを通じた販売チャネルも確立。

- ブランドアパレル等の中古買取・販売を行う「BRING」事業
- ブランド貴金属や時計等を扱う「BRAND REVALUE」事業の2つを柱とする。



概況

- 時計やバッグを中心に売上は継続的に増加している。一方で、事業拡大に伴い人件費や新規店舗出店費用、広告宣伝費用などの販管費が増加しているものの、粗利率の改善などにより大幅な増益となった。仕入(買取)や在庫は増加しており、今後の利益拡大のため、仕入(買取)の更なる増加、ひいては売上・利益増加を目指す。
- 国内リユース市場は拡大を続けており、SDGsなど環境意識の高まり、インバウンド需要の増加など好材料もあるが、一方で、国内消費の低迷や景気悪化、リユース市場の競争激化などの懸念点もある。
- 上記業績等はSTAYGOLD単体の数値であり、連結上は無形固定資産やのれんの償却費が計上されているため、上記数値とセグメント利益とは一致していません。

	2024年2月末	2024年2月末	前期末比
棚卸資産(在庫残高) (百万円)	2,177	2,345	107.7%

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank) ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、各行における決算日(12月31日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2024年1月～12月(又は12月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
STAYGOLD	2月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、決算日(2月28日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2024年3月～2025年2月(又は2月末時点)の状況を記載(STAYGOLD単体ベース)。

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	2023年12月期		2024年12月期	
		期末レート (2023年12月末)	平均レート (2023年1月～12月)	期末レート (2024年12月末)	平均レート (2024年1月～12月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円=24.22MNT	1円=24.62MNT	1円=21.89MNT	1円=22.49MNT
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank) 【キルギス共和国 (Kirghiz republic)】	ソム (KGS)	1KGS=1.59円	1KGS=1.60円	1KGS=1.81円	1KGS=1.74円
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB=1.61円	1RUB=1.68円	1RUB=1.51円	1RUB=1.64円